

介護過程

問題 61 介護過程に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護職の経験に基づく実践の方法を、文章化することである。
- 2 ケアプランを立案することである。
- 3 施設などで集団のケアを実践することである。
- 4 介護の目的を実現するための、客観的で科学的な思考と実践の過程のことである。
- 5 介護職が望む、よりよい生活を実現することである。

問題 62 利用者Nさんの主観的情報を介護職が記録したものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Nさんは、「何となく気持ちが悪い」と言った。
- 2 Nさんは、息づかいが荒く苦しそうだ。
- 3 Nさんは、主食を半分、副食を全量摂取した。
- 4 Nさんは、休むことなく廊下を3往復した。
- 5 Nさんは、朝の体温が37.5度で高めだった。

問題 63 生活上の課題に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 課題が複数ある場合は、優先順位をつける。
- 2 潜在的なものは取り上げない。
- 3 問題解決思考では明確化できない。
- 4 個人因子による課題よりも環境因子による課題を優先する。
- 5 課題を抽出するためには、1つの情報を解釈すればよい。

問題 64 介護計画の立案に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 今までの生活習慣は考慮しない。
- 2 実施方法は抽象的に表現する。
- 3 介護職の意向を優先する。
- 4 利用者と家族の意向を反映する。
- 5 計画の見直しの時期は決めない。

問題 65 介護記録に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 予測できることは事前に記録する。
- 2 家族の言動は記録しない。
- 3 介護職が判断した内容も記録する。
- 4 利用者の気持ちを憶測して記録する。
- 5 介護計画どおりに実施した場合は記録しない。

問題 66 介護計画の評価に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 責任者は、介護支援専門員(ケアマネジャー)である。
- 2 短期目標は、評価の際の基準になる。
- 3 利用者と家族の意見は参考にしない。
- 4 決められた日以外に行うことはない。
- 5 結果を重視して、実践過程は評価しない。

次の事例を読んで、**問題 67**、**問題 68** について答えなさい。

〔事例〕

Sさん(65歳、女性)は、介護老人保健施設に入所している。脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症として、右片麻痺(みぎかたまひ)があり、認知症(dementia)がある。普段の体温は36度、血圧は140/80 mmHg程度で安定している。認知症(dementia)の症状に波があり、良い時と悪い時がはっきりしている。ろれつが回らず言葉がはっきりしない、ちょっとしたことで泣いたり、急に怒りだしたりするときもある。

上着は自分で着ることができているが、ズボンの上げ下げに時間がかかる。トイレに行きたいとたびたび訴えるが、間に合わずに漏らしてしまうこともある。膀胱・尿道(ぼうこう)に疾患や障害はない。便秘のため座薬が処方されているが、本人は嫌がっている。また、下着が汚れることを気にして、水分をあまりとろうとしない。

介護目標として、「便秘が改善する」ことを掲げた。

問題 67 Sさんに関する情報の解釈として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 着衣失行がある。
- 2 構音障害がある。
- 3 更年期障害(climacteric disturbance)がある。
- 4 体温調節機能障害がある。
- 5 パーソナリティ障害(personality disorder)がある。

問題 68 介護目標に対する支援方法の記述として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 緩下剤の服用を促す。
- 2 水分を多めに摂取する。
- 3 朝食後、トイレで便座に座る。
- 4 ストレッチ体操を一部介助する。
- 5 朝食前に、腹部を10～20回、時計回りにマッサージする。